

## 今年の桜、韓国フェリー事故、米国とTPP (2014.5.1)

今年の桜は、皇居の周りからでした。

三月末に上京した折が、ちょうど咲き始めでした。

山形では、先月20日の夕方の霞城公園です。満開の桜の花びらの散り始めも無く、豪華なものを観たという充実感に満たされましたが、その時の地元の尾花沢では、やっと蕾が膨らんだ状態で、まだ開花宣言は出ませんでした。

桜の開花は、日本の南から北まで、三ヶ月を要するそうです。

女房は、もう少し過ぎたら、追っかけ旅をしようよと誘ってくれますが、まとめて三か月は・・・と良い返事が出来ないでおります。

韓国でのフェリーの事故は大変な事故でした。

船員の誘導が不完全であったことが、かなりのウエイトを占めるようです。

若い将来のある多くの命が奪われたことは、本当に残念な事であり、大きな損失です。

決して対岸の火事と見過ごすことなく、私たちの身の回りでも起こり得る事と肝に銘じておきましょう。

先月末にTVを観ていたら、米国ではいわゆる裕福層に当たる国民がまとまって、ある地域に自分たちの自治体を形成し、自分たちの納税したものを自分達だけに使うことを進めているようです。

この結果は、地域の分断や、反対に位置する住民には財源が不足することになり、生活そのものが脅かされていると報道されていました。

このような事柄は、米国では当たり前なのかもしれません。

医療保険に関しても全国一律ではなく、かなりの医療行為の採用が民間の保険会社の意向によって行われているようです。

お金が有ればいくらでも良い医療が受けられる結果になっています。

TPP協議に含まれる食料交易や医療保険での自由診療の推進等々、危うい内容が盛り沢山の様です。

『駄目な物は駄目』ときちんと言える国であり、国民であることが大事です。

平成26年5月

院長 清治 邦夫